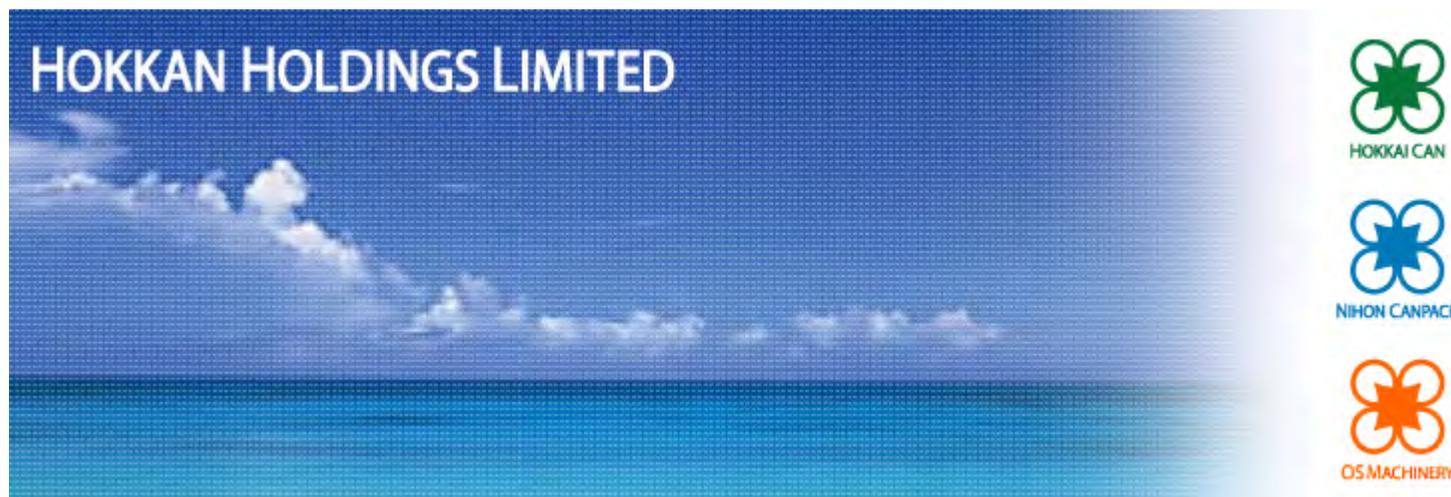


# ホッカンホールディングス決算説明会

証券コード: 5902



2012年6月4日  
ホッカンホールディングス株式会社

# 目次



## 代表取締役社長 工藤 常史

### 2012年3月期決算概要

2012年3月期決算概要	.....	3
2013年3月期見通し	.....	4
ACTIVE-5数値計画	.....	5
ACTIVE-5基本戦略	.....	6
PT.ホッカンインドネシア	.....	12
KE・OSマシナリー	.....	13
トレサビリティ・システム特許化	.....	14

## 取締役 山崎 節昌

### 2012年3月期決算詳細

2012年3月期決算詳細	.....	16
連結セグメント情報	.....	18
連結損益計算書	.....	19
連結貸借対照表	.....	20
連結有利子負債の圧縮	.....	21
連結キャッシュフロー計算書	.....	22
連結設備投資	.....	23
配当政策	.....	24

### 【参考】経営成績

要約連結貸借対照表	.....	26
要約連結損益計算書	.....	27
要約連結キャッシュフロー計算書	.....	28

### 【参考】会社概要

プロフィール	.....	30
経営理念	.....	31
ホッカン・グループ紹介	.....	32
本社と各社工場	.....	33
沿革	.....	34
お問合せ先	.....	35

# 2012年3月期決算概要

# 2012年3月期決算概要



単位：百万円、%

	2012年3月期		2011年3月期	
		前期比伸び率		前期比伸び率
売上高	173,123	6.1	163,238	4.1
営業利益	4,623	17.3	3,942	▲4.4
経常利益	5,355	19.6	4,477	1.4
当期純利益	2,306	55.0	1,488	▲32.6

- 売上高は容器、充填事業での底堅い需要取込みにより2期連続増収
- 経常利益は売上増加や着実な合理化の進展により3期連続増益を確保するとともに2000年の連結決算開始以来、過去最高益を達成
- 当期純利益も大幅増益を達成

# 連結決算:2013年3月期見通し



単位:百万円、%

	2013年3月期				2012年3月期	
	通期予想	前期比	上期予想	前年同期比	実績	前期比
売上高	167,000	▲3.5	90,000	▲1.7	173,123	6.1
営業利益	4,700	1.7	4,000	4.0	4,623	17.3
経常利益	5,400	0.8	4,400	2.2	5,355	19.6
当期純利益	2,400	4.0	2,400	2.1	2,306	55.0

- 電力料金高騰や不透明な経済環境の中、生産性の更なる向上や継続的なコストダウンへの取り組みと共に、中期経営計画に基いた戦略の実行により営業利益、経常利益、純利益とも微増を見込む。

## ACTIVE-5 数値計画



売上/利益計画	11/3期実績	12/3期実績	2015年度	11-15 成長率
売上高	1,632億円	1,731億円	1,850億円	13.4%増
営業利益	39億円	46億円	75億円	92.3%増
営業利益率	2.4%	2.7%	4.1%	/
ROE	3.9%	5.9%	7.0%	/

財務計画	11/3期実績	12/3期実績	2015年度
有利子負債	454億円	464億円	300億円
自己資本比率	30.7%	29.9%	40.0%
流動比率	89.1%	96.8%	100.0%

既存事業の持続的な成長と積極的な事業展開により、15年度売上高1,850億円、営業利益75億円を目標とする。

12年3月期有利子負債については、期末が休日であったため増加。

# 6つの基本戦略-(1)TPS (トータル・パッケージング・システム)

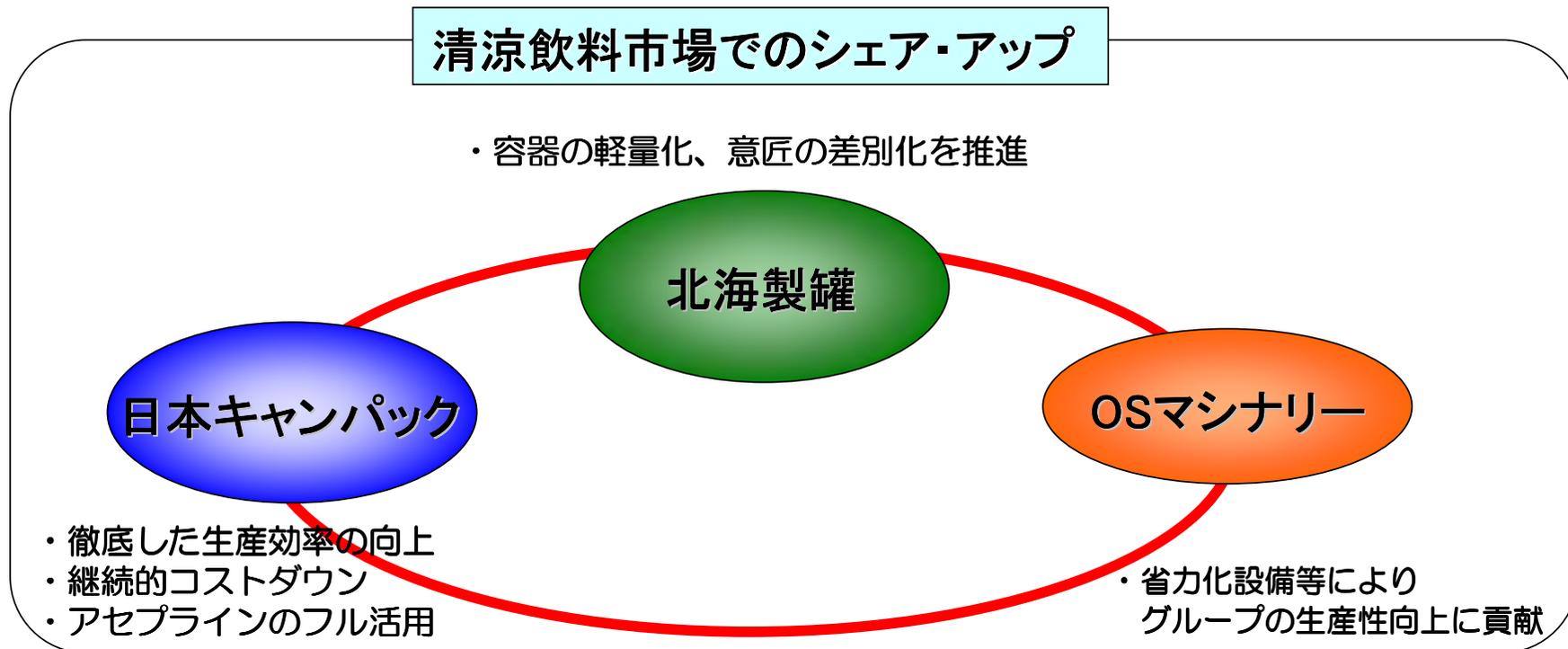


## ■戦略

グループが蓄積した容器事業・充填事業・機械製作事業の技術、ノウハウを有機的に結びつけることにより、飲料市場においてグループの成長、拡充をはかります。

## ■方策

- ・ T P S 定義 — 清涼飲料市場における、グループ総合力の提供による相乗効果の実現



## 6つの基本戦略－(2)環境



### ■方針

---

環境対応型の企業となるため、明確な数値目標をグループで共有し、不断の技術革新により、持続的成長を実現し社会に貢献します。

### ■方策

---

- ・グループ全体での環境方針を設定し社会的責務を遂行
- ・容器の軽量化に向けた技術革新
- ・CO<sub>2</sub>削減に向けた取組みを推進
- ・省エネ対応の推進 — 原単位・年平均1%エネルギー削減
- ・キャン・アート・フェスティバル等のエコ啓蒙活動の継続実施

## 6つの基本戦略－(3)海外



### ■戦略

グループ成長戦略の大きな柱として、これまで培ってきた経験や人材の活用により、容器・充填・機械が一体となり海外進出を果たして参ります。(TPS事業の海外展開)

### ■方策

- ・ 既存市場 — マレーシア／ベトナム市場の深耕
- ・ 新規市場 — グループ横断で海外事業推進チームを結成し、東南アジア地域を中心に新規拠点開発を目指す
- ・ 人材育成 — 人事・教育制度の基盤整備により海外向け人材の育成に努める



# 6つの基本戦略-(4)新規事業(M&A)

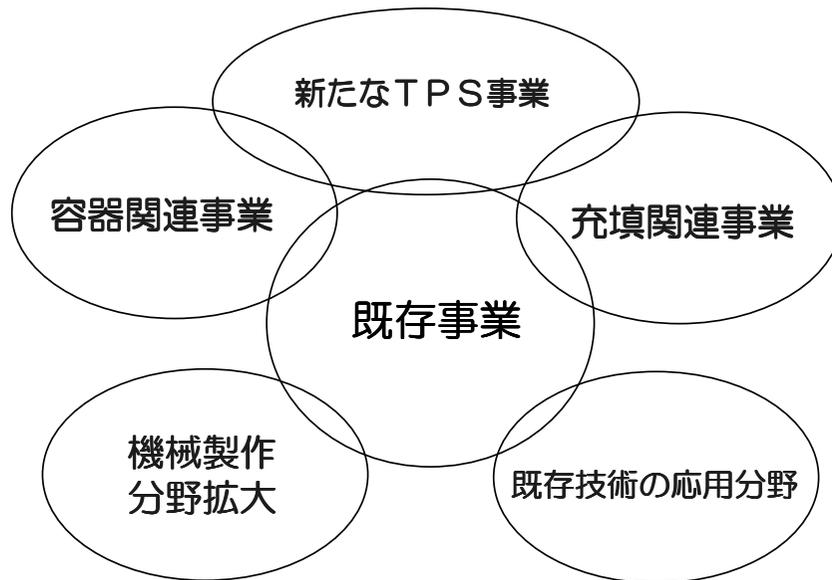


## ■戦略

グループの持続的な成長を可能とさせる新たな付加価値創造のため、既存事業を基盤とし、外部経営資源も活用しながら、周辺関連事業領域への進出をはかります。

## ■方策

### 新規事業検討分野



### ■ 方向性

1. 飲料充填以外の分野での容器、充填事業シナジーが見込まれる分野を検討
2. 既存技術を応用し新たな市場を創出する分野

### ■ 手段

グループ横断的な新規事業検討調査チームを発足させ、進出分野、業務提携、M&A等を検討

### ■戦略

徹底した「選択と集中」により経営資源の再配分をおこない、グループとしての全体最適と企業価値の向上を実現させます。

### ■方策

- ・ 財務 ——— 有利子負債削減、自己資本比率および流動比率の改善
- ・ 人事・労務 ——— 計画的な人事制度の見直し、グループ間人事ローテーションの確立
- ・ 内部統制 ——— より高度な内部統制体制を構築
- ・ 教育 ——— 次世代教育体系の確立
- ・ IFRS ——— 2015年強制適用を想定し体制整備

### ■戦略

グループ共通の情報インフラ（システム）を整備し、グループの経営効率化と意思決定の迅速化を実現させると共に、トレサビリティ情報の戦略的な活用により顧客サービスの充実をはかります。

### ■方策

IT構築5カ年計画を基にIT投資4分野を設定、優先順位に基づいて投資予定喫緊の課題としてはIFRS対応が挙げられ、グループ情報システムの最適化を図る

#### IT投資4分野

- ・ 戦略的投資 = 経営戦略対応支援
- ・ IT基盤投資 = システムライフサイクル対応
- ・ 外部環境適合投資 = 制度対応型投資 / IFRS強制適用等
- ・ 業務改善、効率化投資

## PET容器製造・飲料充填ライン 2012年8月商業生産開始(予定)

11年7月からスタートした本プロジェクト、工場建屋はほぼ完成しており現在稼動に向けての準備が急ピッチで進行中。営業面では複数の食品・飲料企業と受託生産契約を締結。これまで培ってきたグループの技術力、「ものづくり力」により、インドネシアの飲料市場において、確固たる地位を目指して参ります。

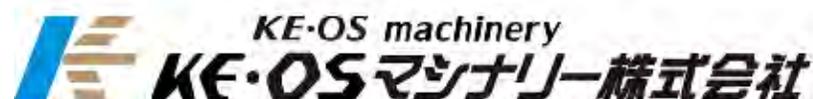


工場建屋はほぼ完成



設備も続々と搬入中

# KE・OSマシナリー設立



## KE・OSマシナリー主力製品



エコアイスチラーシステム



浮上装置付冷却システム  
ひやっこGTシリーズ



ガベッジ・アナライザー



ベジフルチェッカー

機械製作事業の強化のため、冷却技術に強みを持つケーイーコーポレーションと、合併会社KE・OSマシナリーを設立。両社の技術開発力、販売力の強みを生かし、さらなる事業拡大を目指す。

## トレサビリティ・システムの特許取得



日本キャンパック / 西日本キャンパック 全工場にて稼働中

## 日本キャンパックの基幹システム（PSPシステム）

- “受託充填生産における意思決定支援システム”  
特許第4040608号、2007年11月取得に続き、今年1月“トレサビリティ・システム”(特許第4932681号)を取得致しました。
- 上記2つのシステム特許は日本キャンパック、西日本キャンパックの19の充填ライン（年間生産約1億2千万ケース）を管理する基幹システムについての特許化です。

## PSPシステムの特長

- PSPシステムは以下のような先進的な機能を有し長期に亘り安定的に稼働しています。
- お客様の受注変動に対応する迅速な回答を可能とした生産計画機能
- 製品トレサビリティの一元管理機能
- お客様及び取引先様へのWeb開示による生産計画情報及びトレサビリティ情報共有機能
- 厳格なアクセス制御と暗号化による情報の安全性確保機能

# 2012年3月期決算詳細

# 2012年3月期決算詳細



スチール缶事業	飲料用スチール缶	不安定な需要動向	前年度比マイナス
	農産缶詰	天候不順によるスイートコーン缶の減産	前年度比マイナス
	水産缶詰	好調な青物製品(サンマ、サバ)	前年度比プラス
	エアゾール缶	ボンベ缶、殺虫剤、エアコン洗浄剤の需要増加	前年度比プラス
	美術缶	新規受注を獲得	前年度比プラス
プラスチック事業	飲料用ペットボトル	震災の影響や電力規制により生産調整を実施	前年度比マイナス
	プリフォーム	好調な受注	前年度比プラス
	食品用プラスチックボトル	醤油、食用油分野での好調な受注	前年度比プラス
	一般成形品	水袋の受注増加 化粧品関連の新規受注	前年度比プラス

容器事業: 売上高 52,960百万円 前年度比 +3.7%

# 2012年3月期決算詳細



## 充填事業

缶製品	主力の缶コーヒーでの受注獲得	前年度比プラス
小型ペットボトル	一昨年の猛暑の反動 茶系飲料の大型ペットボトル製品へのシフト	前年度比マイナス
大型ペットボトル	新ラインの稼働による好調な受注	前年度比プラス

充填事業:売上高 118,199百万円 前年度比 +7.4%

## 機械製作事業

機械製作部門	金型、液体小袋充填機、クラッチ盤省力機械の好調な受注・販売 缶蓋の増産設備、小型PETボトル成型ライン改造工事	前年度比プラス
エンジニアリング部門	東日本大震災からの復旧工事を受注も 前期大型工事の反動を受ける	前年度比マイナス

機械製作事業:売上高 1,963百万円 前年度比 -6.7%

# 連結セグメント情報



単位：百万円

	2012年3月期			2011年3月期		
	容器 事業	充填 事業	機械 製作	容器 事業	充填 事業	機械 製作
売上高	65,804	118,199	7,695	63,703	110,044	10,458
外部顧客向け	52,960	118,199	1,963	51,090	110,044	2,103
セグメント間	12,844	—	5,732	12,612	—	8,355
営業利益	1,735	3,959	277	2,199	2,535	365
消去	▲1,296			▲1,158		

## 営業利益

- 容器事業：原材料値上げの影響等により21.1%減少
- 充填事業：売上増加および生産性向上により56.2%の大幅増加

# 連結損益計算書



単位:百万円、%

	2012年3月期			2011年3月期	
		百分比	前年同期 比伸び率		百分比
売上高	173,123	100.0	6.1	163,238	100.0
売上原価	155,601	89.9	5.8	147,104	90.1
売上総利益	17,522	10.1	8.6	16,134	9.9
販管費	12,899	7.5	5.8	12,192	7.5
営業利益	4,623	2.7	17.3	3,942	2.4
営業外収益	1,465	0.8	15.1	1,273	0.8
営業外費用	733	0.4	▲0.7	738	0.5
経常利益	5,355	3.1	19.6	4,477	2.7
特別利益	96	0.0	166.7	36	0.0
特別損失	900	0.5	▲55.7	2,030	1.2
税引前利益	4,551	2.6	83.4	2,482	1.5
当期純利益	2,306	1.3	55.0	1,488	0.9

■売上高 :9,885百万円増加  
電力規制を見越した前倒し生産  
や底堅い飲料需要を取込み増収

■営業利益 :681百万円増加  
充填事業での売上増加、生産性  
向上等により増益を達成

■経常利益 :878百万円増加  
営業利益増に加え、営業外損益  
の改善もあり増益

■純利益 :818百万円増加  
特別損失の減少により増益

# 連結貸借対照表



	2012年3月期		2011年3月期	
		構成比		構成比
流動資産	54,132	40.0	43,710	35.1
預金・現金	1,595	1.2	3,968	3.2
売上債権	39,156	29.0	27,460	22.1
棚卸資産	9,184	6.8	9,105	7.3
固定資産	81,044	60.0	80,687	64.9
有形固定資産	62,633	46.3	63,919	51.4
総資産	135,176	100.0	124,398	100.0
流動負債	55,909	41.4	49,084	39.5
仕入債権	32,636	24.1	27,682	22.3
短期借入金	14,502	10.7	13,205	10.6
固定負債	36,256	26.8	35,942	28.9
長期借入金	31,855	23.6	32,163	25.9
負債合計	92,165	68.2	85,026	68.3
純資産	43,010	31.8	39,371	31.6

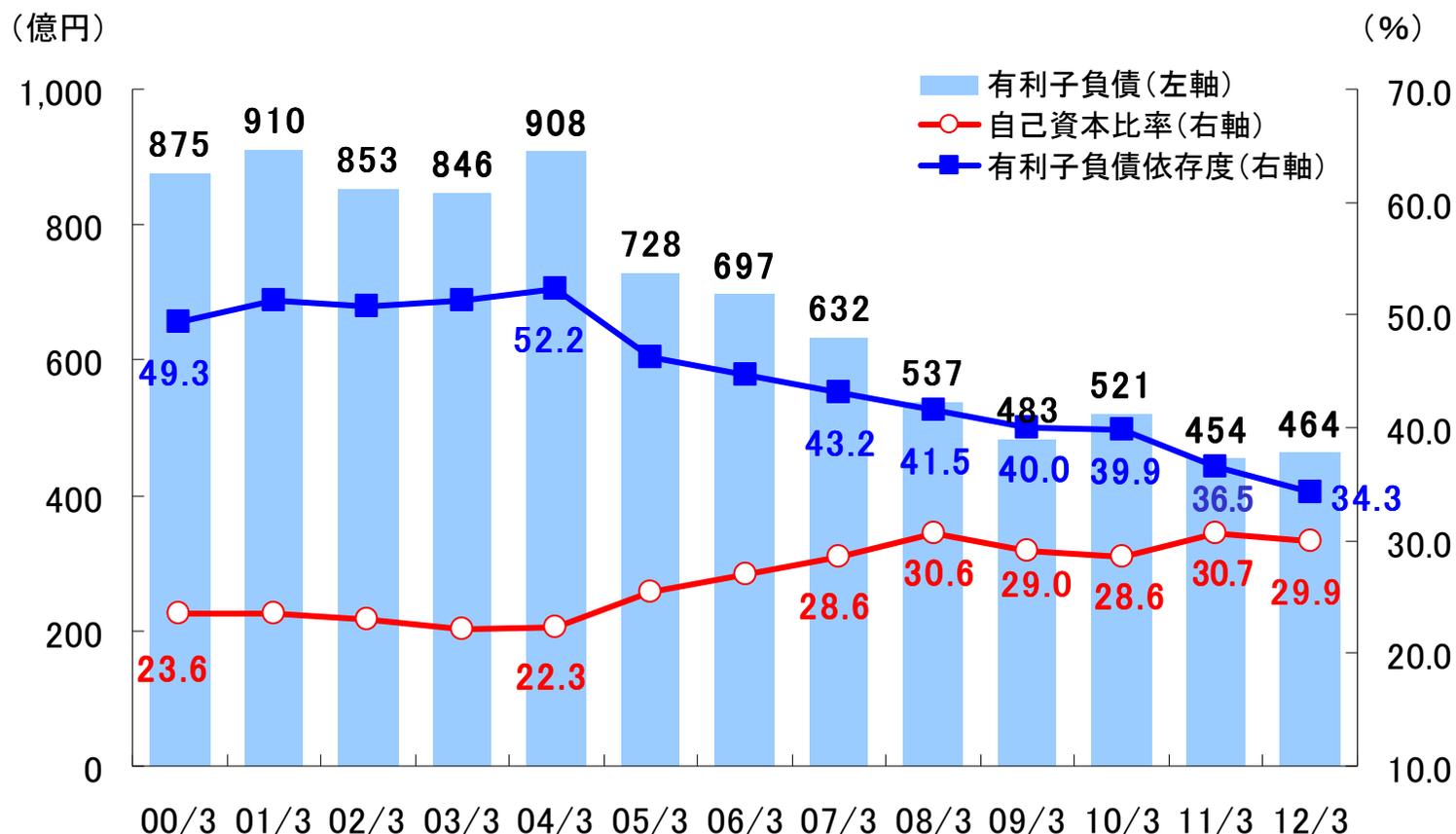
■ 流動資産：10,422百万円増加  
震災により大幅に減少した売掛金が例年の水準へ回復、また期末休日要因による受取手形及び売掛金の増加

■ 固定資産：356百万円増加  
保有する投資有価証券の価格上昇

■ 流動負債：6,825百万円増加  
震災により大幅に減少した買掛金が例年の水準へ回復、また期末休日要因による買掛金の増加及び短期借入金の増加

■ 純資産：3,638百万円増加

# 連結有利子負債の圧縮



- 有利子負債は989百万円増加し46,358百万円
- 有利子負債依存度は連結決算開始以来、過去最低の34.3%
- 自己資本比率は前期比0.8%減少し、29.9%

# 連結キャッシュフロー計算書



単位：百万円

	2012年3月期	2011年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	6,883	18,451	▲11,568
投資活動によるキャッシュフロー	▲10,375	▲8,830	▲1,545
財務活動によるキャッシュフロー	1,418	▲7,453	8,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲299	—	▲299
現金及び現金同等物の増減額	▲2,372	2,167	▲4,539
現金及び現金同等物の期末残高	1,595	3,968	▲2,372

- 営業活動によるキャッシュフローは11,568百万円減少
- 投資活動によるキャッシュフローは1,545百万円減少
- 財務活動によるキャッシュフローは8,871百万円増加
- 現金及び現金同等物に係る換算差額は299百万円減少
- この結果、手元キャッシュは2,372百万円減少

# 連結設備投資



単位：億円

	2008/3 実績	2009/3 実績	2010/3 実績	2011/3 実績	2012/3 実績	2013/3 見通し
設備投資額	40	45	141	90	88	70
減価償却費	87	79	74	90	92	86

## 2012年3月期 実績

- 容器事業： 製缶関連設備等 44 億円
- 充填事業： ペットボトル充填関連設備等 12 億円
- 海外事業： インドネシア建物・生産設備等 31 億円

## 2013年3月期 予想

- 容器事業： 製缶関連設備等 45 億円
- 充填事業： ペットボトル充填関連設備等 15 億円
- 海外事業： インドネシア建物・生産設備等 10 億円

## 配当に関する基本方針

剰余金の配当につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定した配当を行うことを基本方針としております。

12年3月期の期末配当金につきましては、1株につき3円75銭と決定させていただきました。すでに実施済みの中間配当金1株当たり3円75銭と合わせまして、年間配当金は1株当たり7円50銭となります。

また、13年3月期の配当金につきましても、中間配当金1株当たり3円75銭と合わせまして、年間配当金は1株当たり7円50銭を予想しております。

(参考資料)

	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期 予想
配当金	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円	7.5円
配当性向	47.4%	—	22.8%	33.9%	21.9%	21.0%

# [参考] 経営成績

# 要約連結貸借対照表



単位:百万円、%

	2012年3月期		2011年3月期		2010年3月期	
		構成比		構成比		構成比
<b>流動資産</b>	<b>54,132</b>	<b>40.0</b>	<b>43,710</b>	<b>35.1</b>	<b>49,267</b>	<b>37.7</b>
預金・現金	1,595	1.2	3,968	3.2	1,800	1.4
売上債権	39,156	29.0	27,460	22.1	35,962	27.5
棚卸資産	9,184	6.8	9,105	7.3	7,802	6.0
<b>固定資産</b>	<b>81,044</b>	<b>60.0</b>	<b>80,687</b>	<b>64.9</b>	<b>81,552</b>	<b>62.3</b>
有形固定資産	62,633	46.3	63,919	51.4	65,143	49.8
<b>総資産</b>	<b>135,176</b>	<b>100.0</b>	<b>124,398</b>	<b>100.0</b>	<b>130,820</b>	<b>100.0</b>
<b>流動負債</b>	<b>55,909</b>	<b>41.4</b>	<b>49,084</b>	<b>39.5</b>	<b>66,733</b>	<b>51.0</b>
仕入債権	32,636	24.1	27,682	22.3	30,482	23.3
短期借入金	14,502	10.7	13,205	10.6	29,963	22.9
<b>固定負債</b>	<b>36,256</b>	<b>26.8</b>	<b>35,942</b>	<b>28.9</b>	<b>25,652</b>	<b>19.6</b>
長期借入金	31,855	23.6	32,163	25.9	22,169	16.9
<b>負債合計</b>	<b>92,165</b>	<b>68.2</b>	<b>85,026</b>	<b>68.3</b>	<b>92,386</b>	<b>70.6</b>
<b>純資産</b>	<b>43,010</b>	<b>31.8</b>	<b>39,371</b>	<b>31.6</b>	<b>38,433</b>	<b>29.4</b>

# 要約連結損益計算書



単位：百万円、%

	2012年3月期		2011年3月期		2010年3月期	
		前期比		前期比		前期比
売上高	173,123	6.1	163,238	4.1	156,794	▲5.0
売上原価	155,601	5.8	147,104	4.6	140,643	▲7.2
売上総利益	17,522	8.6	16,134	▲0.1	16,151	18.5
販管費	12,899	5.8	12,192	1.4	12,029	▲0.6
営業利益	4,623	17.3	3,942	▲4.4	4,122	169.9
営業外収益	1,465	15.1	1,273	5.0	1,212	15.6
営業外費用	733	▲0.7	738	▲19.7	919	▲11.9
経常利益	5,355	19.6	4,477	1.4	4,415	188.2
特別利益	96	166.7	36	350	8	60.0
特別損失	900	▲55.7	2,030	85.9	1,092	▲74.9
税引前利益	4,551	83.4	2,482	▲25.5	3,331	—
純利益	2,306	55.0	1,488	▲32.6	2,209	—

# 要約連結キャッシュフロー計算書



単位:百万円

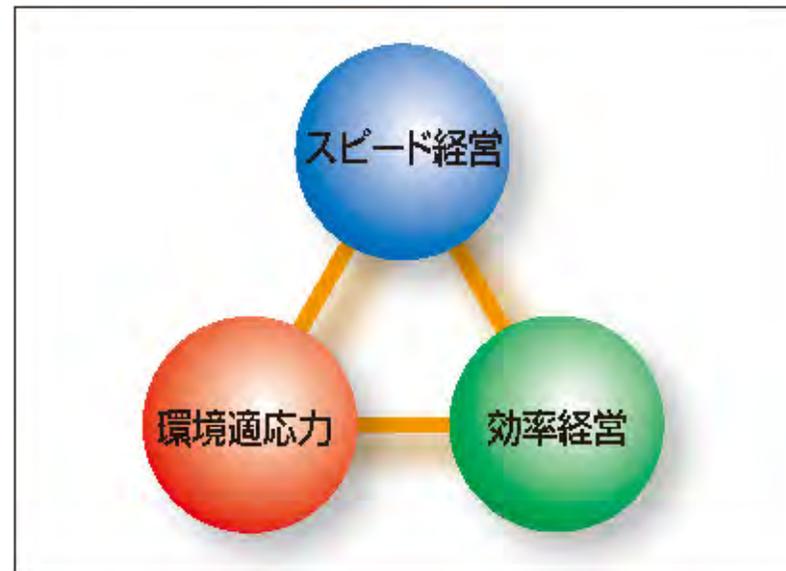
	2012年3月期	2011年3月期	2010年3月期
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>6,883</b>	<b>18,451</b>	<b>7,497</b>
税引前当期純利益	4,551	2,482	3,331
減価償却費	9,197	8,992	7,493
支払利息	582	636	719
有形固定資産除売却損益	463	671	930
売上債権の増減額	▲11,837	8,635	▲5,941
棚卸資産の増減額	▲80	▲1,302	798
仕入債務の増減額	▲1,765	▲1,765	▲470
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>▲10,375</b>	<b>▲8,830</b>	<b>▲11,744</b>
有形固定資産の取得による支出	▲9,534	▲8,352	▲11,269
有形固定資産の売却による収入	26	83	121
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>1,418</b>	<b>▲7,453</b>	<b>3,256</b>
短期借入金の純増減額	▲300	▲16,622	1,104
長期借入金の純増減額	1,290	9,858	2,764
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>▲299</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>▲2,372</b>	<b>2,167</b>	<b>▲990</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>1,595</b>	<b>3,968</b>	<b>1,800</b>

# [参考] 会社概要

商号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
代表取締役社長	工藤 常史
創業年月日	大正10年10月23日
資本金	110億86百万円
事業概要	(1) 容器事業 (2) 充填事業 (3) 機械製作事業 (4) その他
株式	東証一部・札証（証券コード:5902）
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号



昭和20年代の北海製罐  
製造の金属缶



1. 容器・充填・機械製作を通じて社会・文化に貢献する事をグループのアイデンティティとしかつ、スピード感に溢れ、透明性の高い連邦型経営を押し進める事によりグループ企業価値・株主価値の最大化を図る。
2. 品質本位に最善の努力を行い、最高の商品を提供する企業グループとして特長ある技術・ビジネスモデル等の開発に努め、かつ、地球環境を大切とし広く社会・経済の発展に寄与する。

# ホッカン・グループ紹介



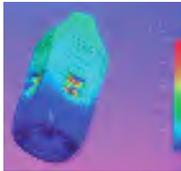
**トーモク**  
 (段ボール・紙器事業等)  
 東証1部上場(3946)

親密なパートナー

**ホッカンホールディングス**  
 (持株会社)

持分法適用会社

**トーウンサービス**  
 (物流事業)  
**ユニバーサル製缶**  
 (飲料缶事業)



**北海製罐**  
 (容器事業)

**日本キャンパック**  
 (充填事業)

**オーエスマシナリー**  
 (機械製作事業)



**昭和製器**  
 (飲料缶・食缶)  
**日東製器**  
 (食缶・エアゾール)  
**東都成型**  
 (化成品容器)  
**ワークサービス**  
 (請負事業)  
**ホッカン・インドネシア**  
 (容器製造・充填事業)

**西日本キャンパック**  
 (充填事業)  
**日本キャンパック**  
**マレーシア**  
 (充填事業)  
**キアンジュ・キャンパック**  
**ベトナム**  
 (充填事業)

**KE・OSマシナリー**



ホッカンホールディングス本社



# 本社と各社工場



● ホッカホールディングス 東京都

● 北海製罐

北海道	小樽工場 (昭和製器)
群馬県	明和工場 (日東製器)
	千代田工場
	館林事業所
	東都成型
埼玉県	岩槻工場
	中央研究所
滋賀県	滋賀事業所
インドネシア	ホッカ・インドネシア

● 日本キャンパック

群馬県	第一工場
	第二工場
	赤城工場
	利根川工場
岐阜県	西日本キャンパック
マレーシア	日本キャンパック・マレーシア
ベトナム	キアンジュ・キャンパック
	ベトナム

● オーエスマシナリー

北海道	小樽工場
群馬県	群馬工場
静岡県	KE・OSマシナリー



日本キャンパック 利根川工場



OSマシナリー 群馬工場



北海製罐 岩槻工場



# 沿 革



- 1921年 北海製罐倉庫(株)創立 資本金100万円、本社小樽
- 1941年 製缶業者8社大合同により新たに東洋製罐(株)設立(旧北海製罐倉庫(株)は小樽工場となる)
- 1948年 過度の経済力集中排除法に基づき、経済力集中企業に指定される
- 1950年 企業再建整備計画により小樽工場およびその付属設備を分離し北海製罐(株)を設立 資本金5,000万円、本社は東京に設立 東京証券取引所に上場  
小樽電解工業(株) 設立 (現昭和製器(株))
- 1954年 東都成型(株) 設立
- 1960年 日東製器(株) 設立
- 1971年 北海製罐 岩槻工場竣工
- 1973年 (株)日本キャンパック 設立、翌年第1工場竣工
- 1974年 (株)小樽製作所 設立(現オーエスマシナリー(株))
- 1985年 (株)ワークサービス 設立
- 1988年 日本たばこ産業(株)と共同出資にて飲料充填会社である(株)ジェイティキャニングを設立  
(2002年に連結子会社とし、社名を(株)西日本キャンパックへ変更)
- 1989年 北海製罐 千代田工場竣工  
日本キャンパック 第2工場竣工
- 1997年 日本キャンパック 赤城工場竣工  
日本キャンパック マレーシア設立
- 2005年 会社分割による純粋持株会社へ移行  
三菱マテリアル(株)と共同で飲料用アルミ缶製造・販売会社であるユニバーサル製缶(株)設立
- 2006年 日本キャンパック 利根川工場竣工
- 2007年 日本キャンパック 利根川工場第2ライン竣工
- 2007年 キアンジュ・キャンパック ベトナム設立
- 2011年 PT.ホツカンインドネシア 設立
- 2012年 KE・OSマシナリー設立



昭和30年代の北海製罐  
函館工場と北洋漁業風景

## 注意事項



当資料に記載された内容は、2012年6月現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身でなされるようお願い致します。

お問合せ先：  
ホッカンホールディングス株式会社  
取締役 山崎 節昌  
TEL:03-3213-5111